東京成徳大学・東京成徳短期大学

# 図書館だより

No. 39　2021 年 1 月発行

目 次

図書館で過ごす時間　…… 1
読んでみて！
　おすすめの保育・教育雑誌　…… 2～3
インフォメーション　…… 4

## 図書館で過ごす時間

一谷　幸男（応用心理学部　臨床心理学科長　教授）

昨年（2020 年）４月から本学に赴任し、十条台キャンパスに通勤するようになりました。登校するたびに目を惹かれるのは図書館の建物です。１号館から中庭を挟んで２号館を望むと、ガラス張りの中に心地よさそうな明るい空間が広がっています。すぐにでも入ってみたくなるのがラーニングコモンズと、吹き抜けからその２階へとつながる図書室です。４月の１週間が過ぎた時点ですでに緊急事態宣言が出され、5 月になって開始した授業もオンライン授業となったので開館時間が著しく短くなったのは、やむを得ないことではあったがさびしいことでした。後期の授業が一部対面授業になったことに伴い図書館もようやく登校した学生が普通に通えるようになり、安堵しました。図書館は各大学にとってやはり象徴的な存在なのでしょう。

図書館の思い出というと、中学や高校までは校内のほんの小さな図書室や地域の公立図書館のイメージしか持ち合わせていませんでしたが、大学に入学してからはじめてあらゆる学問分野の知識の集積された場所だと感じました。学部時代の私の恩師の一人はたいへん厳しい授業で有名でした。概論の授業といっても講義らしき解説などはほとんど無くて、受講生全員が同じ一冊の本を渡され、一人ずつ順に数ページずつ先を調べてきて説明するように指示されるのです。本に書いてある内容について次々と細かく質問をされ、もしうまく答えられないと、必ずといっていいほど「来週までに図書館で調べてくるように」と言われる羽目に陥ります。今だとハラスメント扱いされるかもしれないほどの質問攻めに遭うのですが、先生自身が疑問を持ち、自分が分かりたいと感じた点を納得するまで本気で質問されるので、いわば授業での教える人と学ぶ人という立場を越えて（というか忘れてしまって？）、１対１での闘いになっていたのかもしれません。そのせいでしょうか、われわれ学生が大学の図書館で夜遅くまで書物をさがし、それでも不十分なら他大学の図書館や国会図書館まで出かけて一生懸命調べたことを発表して、それで疑問が解けたときには、たいそう喜んでくださったのを憶えています。

図書館で過ごす時間は、そのように目的のものを探し調べるためなのですが、それは図書館に行くきっかけを作ってくれます。それ以外に興味を引かれる本がたくさんあるのです。本来の目的はそっちのけで、たまたまそこで見つけた本を手に取ってながめていると、時の経つのを忘れてしまうことも。大学生の特権はなんといっても暇な時間に図書館に行って、何の目的もなくゆっくりと過ごすことができることでしょう。授業の合間でもお昼休みでもいつでもいいのですが、書架の間をあれこれと散策してみることで、全く予期しなかった本に出会うことがあります。ICT 環境の発展で情報検索が充実した現在、検索のキイワードを入力すれば、たちまちお目当ての本や雑誌の論文が見つかるのはうれしい限りですが、その周辺にある、実は面白そうなものを見ることなく通り過ぎてしまうようで残念です。卒業して社会に出るとそのような余裕がなくなるので、学生時代のいまこそ、そんな自由な図書館の時間を楽しんでください。

コロナ禍の影響でいまはやや人が少なく静かなキャンパスになっていますが、収束に向かい学生の皆さんが安心して登校できること、いつでも図書館に出入りできる日々がもどるのが待ち遠しいこの頃です。

# 読んでみて！ おすすめの保育・教育雑誌

大学図書館には、各学部・学科の専門にまつわるハードな学術誌から、気軽に立ち読みができる一般誌まで各種揃っています。その中から、子ども学部と短期大学幼児教育科の教員おすすめの保育・教育関係の雑誌をご紹介します。

## 『月刊 MOE モエ』白泉社　（配架場所：一般雑誌架）

「絵本のある暮らし」を謳い、絵本と絵本作家を取り扱った雑誌として、国内外の幅広い世代にわたる絵本作家の情報やインタビュー、作品、展覧会など、絵本に関する様々な情報を知ることができる。絵本は人々の心を癒し、解き放してくれるため、幼児教育科や子ども学部の学生だけでなく、コロナ禍でオンライン授業に疲れた全ての学生の皆さんにこの雑誌をお薦めしたい。

近年の『MOE』はヨシタケシンスケの絵本や工藤ノリコの『ノラネコぐんだん』シリーズなどが誌面を賑わせている一方で、没後 10 年になる佐野洋子の『100 万回生きたねこ』の特集、せなけいこの『ねないこだれだ』誕生 50 周年記念特集なども組まれており、読みどころが満載である。また学術誌と異なり、お洒落なデザインのカラー誌面に雑貨やスイーツの情報なども掲載されているのが『MOE』の特徴だ。そして 2021 年 1 月号にはなんと「おじさんの絵本」なる特集コーナーまで。絵本にもおじさんブーム到来？！

長野 麻子　（子ども学部 子ども学科　教授）

## 『子どもの文化』子どもの文化研究所　（配架場所：専門雑誌架）

『子どもの文化』は国内で子ども文化を扱った唯一の総合雑誌である。編集長は『とんでったバナナ』の作詞で有名な詩人の片岡輝。発行元の「一般財団法人 文民教育協会 子どもの文化研究所」は新しい子どもの文化の創造、子どもの育ちに関わる文化全般を対象にした研究・調査・普及活動を目指し、本誌の発行の他に保育関係のセミナーや紙芝居関連の事業など様々な活動を行なっている。

2020 年の各号の特集テーマは「子どもにとって居心地の良い地域」「『天気の子』から考える」「闘う・戦う–子どもたちに平和を」「疫病と妖怪」などいずれも興味深いものばかりで、各分野の専門家、作家らの寄稿やインタビュー、対談などが読める。小規模ながら独自のポリシーに基づく学術誌のため、読み応えがあり、子どもの文化の知られざる歴史や新しい動向について知ることができる。子どもの文化に関するテーマでレポートや卒論を書こうとしている学生にはお薦めである。

長野 麻子　（子ども学部 子ども学科　教授）

## 『体育科教育』～研究と実践の架け橋になる月刊専門誌～　大修館書店

（配架場所：専門雑誌架）

本誌は主に幼、小、中、高、大学の教育現場における体育の様々な授業実践・検証例を紹介すると共に、体育科教育学の専門家が体育科教育学における最新の研究紹介や、教師論、指導方法、哲学、運動学他、体育教育における総合な学びを論じる月刊誌である。

例えば、今年度はコロナ禍におけるダンスの実技授業において、オンラインという形式を取る中で現場に繋がる有意義な実技力、指導能力を習得するという到達目標にいかに近づけるかということが喫緊の課題であった。こうした課題に対して、2020 年 12 月号「ポストコロナの表現活動・ダンスの授業」では全国の各課程でのいち早い授業実践と失敗、成功例が共有され、誰もが必要とする情報源の一つとなった。諦めることではなく生み出すこと、共有し検証することが学びを止めず前進する力になること、そして教員としての授業力を高めることを改めて感じさせてくれる雑誌の一つである。ぜひ興味のある特集号などをきっかけに一読してほしい。

池田 三鈴　（短期大学　幼児教育科　准教授）

## 『月刊ピアノ』 ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス

（配架場所：一般雑誌架）

ピアノを弾く人ならだれでも、本番前、試験前に緊張する経験をしていますよね。「練習の時は上手く弾けていたのに…」とか「ふとした瞬間にわからなくなり、演奏が止まってしまった…」といった体験談を学生からよく耳にします。特にピアノを弾く機会が多い子ども学部や幼児教育科の学生は緊張感と付き合う方法を身に付けていく必要があります。

2020 年 5 月号の特集記事は«本番であがらない！緊張と上手につきあってあなたらしく素敵な演奏を»です。〈どうして緊張するのか？〉〈準備は万全！本番前のホップ、ステップ、ジャンプ！〉〈現役のピアニストに緊張との上手なつきあい方を聞きました〉等、分かり易く、しかも詳細に緊張との上手な付き合い方を説明しています。

もうひとつ、おすすめしたい特集記事は、2020 年 9 月号の特集記事«オンライン・ピアノレッスン»です。本校の音楽の授業でもオンラインによるピアノレッスンが実施されました。記事では先生と生徒の生の声が取材してあります。コロナ禍の影響によりピアノを弾く人が直面している現状、必要な情報を採り上げています。

他にも、誰でも楽しめるポップスや映画、クラシックの名曲をピアノ用にアレンジした楽譜が毎月掲載されていますので、ピアノを学んでいる人、音楽に興味がある人は是非、読んでみて下さい。

郡司　敦　（短期大学　幼児教育科　准教授）

## 『保育学研究』 日本保育学会 （配架場所：専門雑誌架）

『保育学研究』は、「日本保育学会」発行の、2021 年に第 59 巻目が刊行される歴史ある学会誌である。日本保育界の祖、倉橋惣三氏が設立した当該学会は、文字通り保育に関する研究に貢献し続けている。学会員は、研究者はもちろん、保育者、医療従事者等子どもの育ちに関わる様々な分野の実践者から構成されているので、研究内容は実に多様である。たとえば、乳幼児の発達、遊び、保育の内容、保育方法、保育の歴史や制度、子育て支援、多文化保育、食育等が見られる。「保育」と一言で言うが、こういった視点の多様性から、保育は学際的な分野であることが、誌面を通して伝わってくる。子どもの育ちを支える保育の質向上を目指すために、保育実践の場、家庭や地域、療育現場等との連携の仕方に多角的な視点から示唆を与えてくれる、日本の保育の発展のために欠かせない研究誌である。

細田 成子　（子ども学部 子ども学科 助教）

## 『保育とカリキュラム』 ひかりのくに （配架場所：専門雑誌架）

『保育とカリキュラム』は、日本初の指導計画月刊紙である。一応表表紙、裏表紙は区別されているが、用途に応じてどちらの表紙面からも内容を追えるように工夫・構成されている。表表紙からページをめくると、その月の行事や活動に即した製作物、遊びの環境作り、絵本等がカラー写真やイラストとコメントでわかりやすく紹介され、一目で実践が捉えやすい内容になっている。

裏表紙からは、0 歳から 5 歳児のその月の月間・週間指導計画が丁寧に説明されており、保育現場では指導計画立案の際に活用されている。学生の皆さんも、保育の計画や実践の授業や、実習指導案立案の参考にできる。また、乳幼児の年齢別の発達の様相の理解にも繋げやすい。計画と実践の関連が理解しやすい、保育実践に重宝な一冊である。

細田 成子　（子ども学部 子ども学科 助教）

### ◇◆◇ 雑誌の配架場所 ◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇

一般雑誌架：　図書館カウンターの向かいに新聞と隣り合わせで配置しています。
主に趣味や娯楽など一般教養向けの雑誌があります。

専門雑誌架：　カウンター隣の壁面と書架スペースへの仕切面に配置しています。
学会誌など各学部学科に関連した専門性の高い雑誌があります。

# Information

## 教員著作図書紹介

本学教員による著作の一部（2016 年以降出版）をご紹介いたします。本を通じて、大学の講義だけでは知ることのできない先生方の研究分野に触れてみませんか？ 図書館 1 階書架に「教員著作図書」コーナーとして配架しています。もちろん貸出もできますので、ご不明な場合は、図書館 2 F カウンターでお声がけください。

**〇石隈利紀先生（臨床心理学科・大学院研究科長）**
『教育・学校心理学（公認心理師の基礎と実践；第 18 巻）』（編集）遠見書房 2019 年

**〇石隈利紀先生（臨床心理学科・大学院研究科長）・田村節子先生（臨床心理学科）**
『石隈・田村式援助シートによる子ども参加型チーム援助』（共著）図書文化社 2017 年

**〇徳山美知代先生（臨床心理学科）**『アタッチメントに基づく評価と支援』（分筆）誠信書房 2017 年

**〇江口めぐみ先生（臨床心理学科）**『児童の主張における他者配慮』（単著）風間書房 2019 年

**〇李允希先生（国際学部）**『新韓国語学習 Q&A333』（共著）HANA/インプレス 2017 年

**〇水谷清佳先生（国際学部）**『帝国日本の移動と動員』（分筆）大阪大学出版会 2018 年

**〇益田早苗先生（子ども学部）**『看護・保育・福祉・教職課程のためのセクシュアリティ論ノート』（単著）大空社 2018 年

**〇善本眞弓先生（子ども学部）**『指導計画の考え方・立て方 ： 幼稚園・保育所実習』（分筆）萌文書林 2017 年

**〇長野麻子先生（子ども学部）**『まんまんぱっ！』（共著）童心社 2016 年

**〇味府美香先生（子ども学部）**『みんなピアノだい好き！：保育者・教師をめざす人、集まれ～！』（共著）全音楽譜出版社 2016 年

**〇田中真理子先生（経営学部）**『写真とイラストで辿る金子みすゞ』（単著）勉誠出版 2016 年

**〇安見克夫先生（幼児教育科・科長）**『言葉とふれあい、言葉で育つ ： 保育内容「言葉」』（共編著）東洋間出版社 2018 年

**〇寺田清美先生（幼児教育科）**『保育者の伝える力：アッというまに書けて☆伝わる』（単著）メイト 2016 年

**〇大國ゆきの先生（幼児教育科）**『保育の心理学（シリーズ知のゆりかご）』（分筆）みらい 2019 年

**〇吉田博行先生（幼児教育科）**『社会福祉実践労働の基礎的研究：木のかおりと花のたね』（編著）本の泉社 2016 年

**〇大澤洋美先生（幼児教育科）**『3・4・5 歳児の心 Q&A（Gakken 保育 books）』（共著）学研プラス 2017 年

**〇田中浩二先生（幼児教育科）**『写真で学ぶ！保育現場のリスクマネジメント』（単著）中央法規出版 2017 年

**〇永井優美先生（幼児教育科）**『近代日本保育者養成史の研究：キリスト教系保姆養成機関を中心に』（単著）風間書房 2016 年

## 電子図書館LibrariE『先生のオススメ！』始めました

今年度７月よりサービスを開始した電子図書館 LibrariE（ライブラリエ）のトップページで、本学教員のおすすめコンテンツをご紹介しています。LibrariE は、どのコンテンツも気軽に読める内容ですので、講義とは違った先生方の視点を垣間見ることができるかもしれません。是非ご覧いただき、興味のあるコンテンツを借りてみてください。

https://www.d-library.jp/tsu/　図書館ホームページの右のバナーからもアクセスできます

## 春季休業中の図書館利用について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、状況により開館スケジュールや利用方法は随時変更されます。
ご利用に際しては、図書館ホームページ掲載の開館カレンダー及びお知らせをご確認ください。
なお、来館に際しては、感染防止対策として以下の点にご注意願います。

＊咳、発熱、倦怠感などの風邪のような症状のある方は来館をお控えください。
＊必ずマスクを着用し、入口設置の消毒用アルコールでの手指消毒をお願いいたします。
＊館内では会話をご遠慮いただき、他の利用者と距離を確保するようにしてください。

## 卒業予定者および大学院修了予定者の方へ

２０２１年３月に卒業・修了予定の方の最終返却日は **２０２１年２月２７日（土）** となります。
返却忘れのないようにお気を付けください。

東京成徳大学・東京成徳短期大学図書館
（十条台キャンパス）
〒114-0033 東京都北区十条台 1-7-13
Tel:03-3908-3529
Fax:03-3908-4549
https://tokyoseitoku-opac.limedio.ricoh.co.jp/drupal/